

私立高校の受験！

みなさんは進路について、現在どのくらいのことを考えていますか。人によって様々だと思いますが、中には具体的な高校を決めている生徒もいるのではないのでしょうか。具体的な高校を決めていなくても公立高校を希望するぐらいは決まっている生徒もいると思います。さて、受験する高校が決まっていればその1校だけを受検すればよいかというと・・・、今回の自彊では併願受験についての話をします。少し嫌なこともお伝えしますがぜひ目を通してください。

1 私立併願受験

公立受検や説明会などで可否の言及のない私立受検の場合をした場合、倍率が1.0倍より高くなるとう入学許可が出ない（不合格の）生徒が出ます。（40人募集のところ48人が受検すると倍率は1.2倍となり、8人が不合格となります。）私立受検で不合格の場合はその後、県公立受検が可能です。県公立受検で入学許可が出なかった場合は、2次募集を探すことになります。2次募集は募集定員に満たなかった学校が入学候補者を増やしたい場合に実施します。ポイントは全部の学校が実施するわけではないということと年度によって募集する学校がまちまちだということです。2次募集を当てにした進路選択をすると、万が一の時には『入れればいいや』になってしまい、自分に合った進学ができないケースがあったり、近隣の高校で2次募集が行われずに進路先が決まらないことがあります。

そこで登場するのが併願受験になります。併願受験は私立高校のみで受験できる形態です。併願受験とは第2・第3志望など第1志望でない学校を受検することです。合格しても入学を辞退することができます。例年も多くの生徒が併願受験をし、万が一の進路先を確保した状態で第1志望受検に臨んでいます。併願受験をすることは、万が一の際でも自分に合った進路先に進学できることや、第1志望の受検の際に精神的に落ち着いた状態で検査に臨める可能性が高くなる、そもそもの進路選択の際に妥協をしない選択ができる可能性が高くなるなど多くのメリットがあります。今現在、公立を第1志望に考えている生徒も併願受験を視野に入れ、私立高校の説明会にも参加しましょう。併願受験を考えたときには私立高校の説明会・個別面談に参加することは非常に重要なこととなります。第1志望に本当に行きたい学校を選択し、学力検査に心身共に万全の状態に臨むためにも私立高校の併願受験をご検討ください。家庭によって考えは様々だと思いますが、私立高校の説明会に参加して個別面談をしたからといって必ず受験をしなければいけないということはありません。説明会や個別面談に参加して準備を進めた状態で受験を取りやめることは問題ありませんが、全く説明会や個別面談を行っていない状態で突然受験をしようとするとう大変な思いをすることになります。場合によっては可否の言及がある個別面談に間に合わない場合もあります。今現在、公立高校1本で考えているご家庭も私立高校の説明会への参加を検討してもらえればと思います。

最後に、一番お伝えしたいことは、志望校のことはもちろんのこと、併願校についてなど、万が一の際はどのようにするかをきちんと話し合いをして考えておいてほしいということです。よろしくお願ひいたします。

○高校受験のパターン例（一例）

- ① 第1志望公立校 + 事前に可否の言及がない第2志望私立校 + 事前に可否の言及がある第3志望私立校
- ② 第1志望公立校 + 事前に可否の言及がある第2志望私立校
- ③ 事前に可否の言及がない第1志望私立校 + 事前に可否の言及がある第3志望私立校 + (第2志望公立校)
※第1志望の私立校が合格だった場合は、公立校受検はしない
- ④ 事前に可否の言及がない第1志望私立校 + 事前に可否の言及がある第2志望私立校
- ⑤ 事前に可否の言及がある第1志望私立校

2 私立の受験

私立高校は基本的に受験に関して家庭で動いてもらうことが多くなります。高校によって説明会や個別面談、部活動体験会、プレテストの意味も様々です。学校によっては合否について言及のある学校や入部のための選抜があったり、プレテストの結果で受験当日のテストが免除されたりします。情報収集から高校との面談、願書の準備、出願、その他手続きまで抜かりなく行ってください。何かわからないことがあった場合も基本的には高校に家庭から直接問い合わせることになります。よろしくお祈りします。先日、山村国際高等学校よりこんな案内が届きました。そこには推薦受験のための目安や個別相談会の日程、部活動の体験会・セレクションの案内などが掲載されています。目安には教科の成績や偏差値、欠席数が基準として掲載されています。この基準は通知表や校長会・外部テストの結果を参考に判断します。(詳しくは山村国際高等学校のHPを見てください。)

○山村国際高校の例※一部抜粋 (参考サイト <https://www.yamamurakokusai.ed.jp/examination/requirement/>)

山村国際高等学校 2025 年度入試

1 推薦のめやす 偏差値(公的テスト含む)は、原則7月以降の試験結果(3科または5科)のうちの1回

出願区分		3年次の1学期(前期)または2学期の評定値(5段階)等	欠席日数
単願	校長推薦	学業奨学生S1 [9教科 40 以上かつ5教科 22 以上かつ偏差値 62 以上] または [偏差値 65 以上] 学業奨学生S2 [9教科 40 以上かつ5教科 20 以上かつ偏差値 60 以上] または [偏差値 63 以上] 特進選抜コース [3教科(英・国・数) 12 以上かつ偏差値 50 以上] または [偏差値 58 以上] 特別進学コース [5教科から 英語 を含む任意の3教科合計が 11 以上かつ偏差値 50 以上] または [偏差値 54 以上] 総合進学コース [5教科から 英語 を含む任意の3教科合計が 10 以上かつ偏差値 50 以上] または [偏差値 52 以上]	3ヵ年 精勤
	自己推薦	特進選抜コース 特別進学コース 総合進学コース 上記基準を満たさない方は、「自己推薦書」を使用し受験することができます。 ※単願受験の方は、特進選抜は10点・特別進学は20点・総合進学は30点を入試の総得点に加点し判定します。	3ヵ年 20日 以内
	併願	校長推薦 特別進学コース 総合進学コース [3教科(英・国・数) 13 以上かつ偏差値 52 以上] または [偏差値 60 以上] [5教科から 英語 を含む任意の3教科合計が 12 以上かつ偏差値 52 以上] または [偏差値 56 以上] [5教科から 英語 を含む任意の3教科合計が 11 以上かつ偏差値 52 以上] または [偏差値 54 以上]	3ヵ年 20日 以内
	自己推薦	特進選抜コース 特別進学コース 総合進学コース 上記基準を満たさない方は、「自己推薦書」を使用し受験することができます。	

コースによって基準が違うんですね。単願で受験をした方が基準値は低いようです。欠席日数も基準がありますね。成績は3年1・2学期のものが基準になるようです。

5 セレクションについて

セレクション参加資格 以下のすべての項目を満たす者とする

- ① 2025年3月中学校卒業見込みの者
- ② 本校を希望校の1つとし、入学後3年間その部活動を継続する意思のある者
- ③ 直近の成績に「1」がなく、9教科合計27以上の者

6 セレクション合格者入学試験について

(1) 受験資格 以下のすべての項目を満たす者とする

- ① 2025年3月中学校卒業見込みの者
- ② 当該部活動が実施するセレクションに参加し、合格通知が届いた者
- ③ セレクション合格通知を持参し、本校個別相談を受けた者
- ④ 本校を単願で希望し、入学後3年間その部活動を継続する意思のある者
- ⑤ 部員として自覚ある言動がとれる者
- ⑥ 直近の成績に「1」がなく、9教科合計27以上の者

(2) 入学試験：書類選考、学科試験(国語・英語・数学)、面接試験

部活動のセレクションがあるようです。セレクションに合格すると特別な入学試験になるようですね。直近の成績に1があると参加できないようです。

三者面談時に持参する「調査書記入に関わる個人調書」について

6月21日に配付いたしました「調査書記入に関わる個人調書」(ピンク色の用紙)の記入は進んでおりますでしょうか。7月22日(月)からの三者面談時に担任へご提出ください。記入の際は、1・2年生の通知表なども参考にいただき、部活動での実績や取得した資格等、今までの全ての記録の記載をお願いいたします。また、記録を証明するもののコピーの提出もお願いしておりますが、こちらは3年生1学期までの通知表に記載がないもののみとなります。ご準備の方、よろしくお祈りいたします。